

会 議 録

会議名	平成26年度第1回文化財保護審議会	
事務局	生涯学習課	
開催日時	平成26年5月14日（水） 午前10時00分から午後11時30分	
開催場所	第二庁舎8階801会議室	
出席者	委員	(出席) 田中・二宮・福嶋・孤島・伊藤各委員 (欠席) なし
	事務局	石原課長・伊藤・高木
傍聴の可否	◎可・不可・一部可	
	傍聴者：3名（東京都職員）	
不可の理由		
会 議 次 第		
1 開 会		
<p>小金井市文化財保護審議会委員（第5期）の委嘱状交付及び任命について</p> <p>小金井市文化財保護審議会委員紹介（資料1）</p> <p>事務局紹介</p> <p>教育長あいさつ</p>		
2 議 事		
(1) 小金井市文化財保護審議会会長及び副会長の選出		
(2) 報 告		
1) 平成25年度事業報告（資料2～5）		
2) その他		
(3) 議 題		
1) 平成26年度事業計画案（資料6）		
2) 江戸東京たてもの園の建造物について協議（資料7）		
3) 第2回文化財保護審議会の日程について		
平成26年8月20日（水）江戸東京たてもの園視察		
3 閉 会		

[配布資料]

- 資料 1 第 5 期小金井市文化財保護審議会名簿
- 資料 2 平成 2 5 年度事業報告
- 資料 3 小金井市指定・登録文化財一覧
- 資料 4 市天然記念物「旧谷口家のオニイタヤ」の指定資料
- 資料 5 平成 2 5 年度小金井市文化財センター入館者数
- 資料 6 平成 2 6 年度事業計画（案）
- 資料 7 江戸東京たてもの園関係資料

会 議 結 果

(要点筆記)

1 開会

(石原課長) 平成 2 6 年度第 1 回文化財保護審議会を開催する。会長の選出までは、私、生涯学習課長の石原が議長を務めさせていただく。

山本教育長から委員への委嘱状の交付及び任命を執り行う。

小金井市文化財保護審議会委員の紹介を行った。

(石原課長) 4 月 1 日付けの人事異動で、前任の生涯学習課長の天野が広報秘書課に異動となり、石原が着任した。文化財係の倉澤主任は公民館に異動し、その後任に新入職員の高木主事が配属となった。今後、高木が文化財全般を担当する。

(高木主事) 文化財係に配属となりました高木翼郎です。よろしくお願いします。

教育長のあいさつ

(山本教育長) 今年 1 月 6 日付で教育長に就任した。市立第一中学校の校長を 5 年間務めさせていただいた。退職後は、教諭の指導等に当たっていたが、改めて教育の場に戻ってくることになった。年度初めに事務局と市内を視察した際に、縄文式土器をはじめ、予想に反して貴重な文化財が市内に数多くある事実に驚いた。また、学校校長の経験から、文化財は保護のみではなく、社会の中でどのような活用のされ方ができるのかを考えている。1 つ目は、小・中学生に地元の歴史や文化を伝えること。文化財行政が学校教育と連携し、ふるさとに対する誇りや愛着等、郷土愛の醸成に繋げられるようにしていく。2 つ目は、市の発展の視点から、文化財が市の魅力を外部に発信する素材の 1 つに成り得ると思う。文化財も基軸に据えながら

市の特徴や良さを周囲に発信していきたい。委員の皆様には、専門的な知識や意見を出していただいて、文化財保護及び活用から、市の発展にご協力いただければと思う。

2 議事

(1) 小金井市文化財保護審議会会長及び副会長の選出

福嶋委員より、第4期と同様に会長に田中委員、副会長二宮委員の推薦があり、全員同意したため、そのように決した。

(2) 報告

(事務局：伊藤)

1) 平成25年度文化財保護審議会は4回開催し、文化財指定の検討を行った。審議会では、天然記念物「旧谷口家のオニイタヤ」の指定、天然記念物「松島家のサンシシュ」の指定解除(予定)、有形文化財「閻魔堂木造閻魔王坐像」の修理、玉川上水・小金井桜の整備事業・人道橋の設置計画、江戸東京たてもの園の建造物指定について報告及び審議した。焼失した史跡空林荘については、史跡の指定は変えず、新たな説明板を設置することにした。

2) 文化財保護・啓発事業として、文化財管理公開謝礼金の交付、史跡空林荘の文化財説明板の設置を行った。史跡めぐりは雨天のため中止となった。

3) 埋蔵文化財の保護は、発掘届の受理や現地立合調査・試掘調査等、適宜指導・助言を行ってきた。

4) 文化財センター事業について、展示公開は、4～5月に季節展「名勝小金井(サクラ)」、11～12月に企画展「地図で見る小金井」、文化財講演会「下田半兵衛と桜接種碑」、古文書講座を実施した。

【質疑・意見等】

(1) 名勝小金井(サクラ)の現況について

(福嶋委員) 玉川上水の桜並木の件で、都による桜の管理は実施されていないように見受けられた。往時の景観に戻すための桜の補植には賛成だが、ヤマザクラが対象になる。現状は様々な品種の桜が乱立しており、どのように処置していくのか、また、他の常緑樹等によって被圧されたり衰えてきている桜はどう対応していくのか、市の責任で是非、東京都関係部署と進めていってほしい。

(孤島委員) 戦後に植えられた小金井桜ではない桜はどうされるのか。

(事務局：伊藤) 主にソメイヨシノやカスミザクラであるが、カスミザクラの多く

はかかなり枯れている。ヤマザクラを補植する方向で考えている。

(田中議長) 今後の審議会で随時検討していく。

(2) 小金井市文化財センター入館者数について

(二宮委員) 文化財センターの入館者数について教えてほしい。

(事務局：伊藤) 昨年度の入館者数は3,557人で、通年比較(4,000人前後)では少ない。引き続き、入館者数を増やしていけるような企画を計画していく。

2 議 題

(1) 平成26年度文化財保護事業について

(事務局：伊藤)

1) 文化財保護審議会は本日を含めて、年4回の開催を予定している。

2) 文化財保護及び普及・啓発は、文化財公開管理の謝礼交付、新指定天然記念物「旧谷口家のオニイタヤ」の説明板の設置、史跡めぐり、2冊のパンフレットの改訂・刊行を計画している。史跡めぐりは、昨年度中止となった小金井市・調布市共催事業として「滄浪泉園から近藤勇生家跡まで」を10月25日に実施する予定。改訂するパンフレットは、特に需要の高い「小金井市の歴史散歩」と「小金井桜絵巻」とする。江戸東京たてももの園建造物指定の件は、昨年度に引き続き審議する。

3) 埋蔵文化財は例年通り、適宜指導・調査を進めていく。

4) 文化財センター事業は、季節展「名勝小金井(サクラ)」(実施済み)、秋季企画展「新聞に見る小金井」、文化財講演会、古文書講座を企画・計画している。

【質疑・意見等】

1 文化財公開管理謝礼交付について

(福嶋委員) 交付金額が低額に感じるが適切か。

(事務局：伊藤) 他自治体の実績との比較や要綱で決定している。

(福嶋委員) 所有者の方々が文化財を大切にしていこうという意識を高めていく、また管理をしてもらうためには、それに見合った交付額が求められる。

(事務局：伊藤) かつては現在よりも額が小さく、改定後、段階的に上がっていき現交付額になった。

(二宮委員) 謝礼交付で、市有形文化財の内に有形民俗文化財は含まれているか。

(事務局：伊藤) 含まれている。なお、指定されている市有形民俗文化財は、全て市が所有しており交付金は発生していない。

(二宮委員) 無形民俗文化財に関わる道具等の資料を有形民俗文化財とし、分けて指定することは可能か。

(事務局：伊藤) 指定対象の資料が残存するのか不明であるが可能性はある。

(二宮委員) 個人所有の有形文化財はあるか。

(事務局：伊藤) 列挙すると、応永廿九年銘薬師如来立像、閻魔堂木造閻魔王坐像、渡辺家墓地月待板碑、寛文六年庚申塔、梶家所蔵板碑群と宝篋印塔、川崎平右衛門供養塔、天然記念物は大久保家のカキノキ、金蔵院のケヤキとムクノキ、松島家のサンシュユである。以上11件の指定文化財を所有している個人及び団体に謝礼交付した。

(2) 文化財説明板について

(孤島委員) 説明板について、例えば、御栗林跡の説明板の場所が分かりづらい。

(福嶋委員) 同様に陣屋道の説明板が生垣の影に隠れていて見つけにくい。

(田中議長) 文化財説明板の設置状況や劣化具合等、点検をお願いしたい。

(事務局：伊藤) 逐一点検を実施し、案内板の補修・更新をしていく。

(3) 江戸東京たてもの園建造物指定について

(田中議長) 江戸東京たてもの園の建造物指定について補足をお願いしたい。

(事務局：伊藤) 東京都生活文化局から指定要請のあった建造物は資料7にある通りである。前年度の審議会においても、本件について取り上げてきた(経過については平成25年度第2・3回文化財保護審議会議事録を参照)。その上で、今期より建築史専門の伊藤委員がおられるので現地視察を実施したい。指定の是非はそれから議論をしていく計画にしたい。また、本件とは別に、市内の古い建築物に関しても指定に向けて、今後伊藤委員にご助言をいただきたい。

(伊藤委員) 都の考えのもとで移築・保存してきた関係上、都で指定するのが当然ではないかと思う。一方で、江戸東京たてもの園は、大学生の博物館実習の場にもなっており、また小金井市に若い方や観光客を呼び込む拠点の一つであることも事実である。旧浴恩館(現在の文化財センター)等も含めた市内の史跡巡りの観点からは、江戸東京たてもの園を活用することが必須となろう。ちなみに現在、市民への優遇処置はあるのか。

(事務局：伊藤) 市内市外関係なく一般の減免処置があり、未就学児童や小・中学生は無料で入館できる。

(伊藤委員) 園内の施設の維持・管理費が厳しい状況にあることは承知しているが、年齢制限を設けず市民全体が優待されるようになることが好ましい。文化財活用の

面からは、指定に際して小金井市が活用しやすいような仕組みや方法を積極的に東京都に提案していくことも必要であると感じる。

(田中議長) 小金井市内に近世農家建築あるいは茅葺建物は残存しているのか。

(事務局：伊藤) 近世建築及び茅葺建物の民家はない。

(伊藤委員) 資料7に載せてある建造物が指定候補か。

(石原課長) 市で指定してほしい建物として、数棟の茅葺建物をと伺っている。

(福嶋委員) 指定する場合には市民の方々に説明しなければならない。市民の方々は、小金井市にゆかりのない建物を指定することに疑問を抱くと思う。そのあたりの対応をしっかりと考えないといけない。

(田中議長) 史跡等を解説されている市民ボランティアガイドへの説明が求められる。指定理由に納得していただいた上で、改めてガイドへの要請をするのが良いだろう。

(伊藤委員) 建築史の立場からは、天明家を含む園内の近世建築は全国的にも質の高い建造物と言える。日本建築史の中での茅葺民家の価値や重要性を考慮し、また小金井市にプラスになるような活用方法が可能になるのであれば、小金井市で指定しても問題ないのではないか。

(福嶋委員) ただし、これまで指定してきたものは市の伝統・歴史・文化を考える上で欠くことのできない市固有のものであった。他所(市外)から移築されてきたものに対してどのような意味付けをしていくのか、ご意見を伺いたい。

(伊藤委員) 最近では当該地域から離れた場所から移築された建物に対して、その自治体で指定しているケースが増加してきている。もちろん、市民の方々に理解してもらえるかによる。今後、文化財指定することによって「市の財産」として周知されることが望ましい。

(田中議長) 立川市の国営昭和記念公園内に新たに建物が移築されているが。

(事務局：伊藤) この件は、狛江市にあった建物を公園内に移築し、立川市が指定している。

(福嶋委員) 市内に茅葺民家が残存しない現状を鑑みた場合、当時の建物の形状や建築技法を身近に体験できるようになることが指定理由の1つに成り得るかもしれない。

(孤島委員) 小平市ふるさと村では、ボランティアガイドが常駐し施設内の案内及び管理を行っているが、近世民家や道具が見学できる同施設とその取り組みは歴史を勉強する場には最適である。両国に所在する江戸東京博物館の分園(江戸東京たてもの園)を市内に誘致した経緯があるので、小平市の例のように小金井市は江戸東京たてもの園を活用すべきである。

(福島委員) 本来は東京都が指定するのが自然であるが、東京都とのこれまでの経緯を整理しておく必要がある。

(事務局：伊藤) 現在は東京都生活文化局と協議を進めているが、指定については最終的に国に報告するため、都の文化財の主管である東京都教育庁と話して了承をとっておかないといけない。

(孤島委員) 仮に市で指定となった場合、管理を含めて小金井市はどのような関わり方をするのか、また修繕費等はどちらが負担するのか。

(事務局：伊藤) 所有者は東京都であり、市は専門家とともに適切な指導・助言を行う。

(石原課長) 市補助金要綱では、個人所有者が多額の負担を強いられる場合に補助金が充当されるが、東京都は公共団体のため市が補助することはない。

(伊藤委員) 所有者である東京都が当該文化財を周知してくれるのであれば、市の負担はなく、文化財活用が進めやすいという見方もある。なお、今回の候補建物は一括して指定を目指しているのか。

(石原課長) 必ずしも一括指定である必要はなく、各建物の調査等を行った上で随時指定していくことになる。なお、指定期限も特には設けられていない。

(事務局：伊藤) 本審議会第2回に現地視察し、江戸東京たてもの園学芸員の説明を受け、第3回で方向性を決定、指定するのであれば第4回で答申していただきたい。

(田中議長) 本件については、本審議会第2回8月20日で、江戸東京たてもの園に視察した後、改めて文化財指定の是非について議題に挙げることとする。

以上で会議終了